

令和 3年度 事務事業評価表（個票）

課名 教育推進部学校教育課

作成日 令和 4年 8月 5日

概要	施策名	幼児教育・小中学校教育	基本目標	未来につながる人材を育むまち
	施策の目的	豊かな感性と確かな学力をもつ、心身ともに健康な子どもを育成すること。		
施策の方向		小中学校における教育力の向上		
令和 3年度 の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし	小中学校における教育力を向上するために、新型コロナウイルス感染症対策を行い、方法を工夫しながら事業を実施した。学力向上研修会では、主体的・対話的で深い学びの実現のために方策を探るとともに、GIGAスクール推進に係るタブレットの効果的な活用方法を検討した。また、不登校児童生徒問題を喫緊の課題ととらえ、ケース会議を実施し、支援の手立てを指導した。さらに教職員の育成事業として、若手教員の教育力向上を目指し、ニーズに応じた研修会の企画、運営をおこなった。		
今後の方向性 (改善措置等)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善	これまでどおり、心の教育を柱として推進するとともに、確かな学力の育成、生徒指導・特別支援教育の充実、安全教育に焦点を当てた「命の教育」の推進を図っていく。また、三島市学校教育振興基本計画の後期5ヵ年行動計画をもとに、事業を実施することを通して、小中学校の教育力の向上を図る。さらに、「令和の日本型学校教育」の姿である「全ての子供たちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現」に向け、GIGAスクール構想を推進し、教員のICT活用指導力の向上を図る。		

No.	事務事業名	活動指標名	単位	活動内容				コスト（事業費：千円）			
				令和 2年度 実績	令和 3年度 計画	令和 3年度 実績	令和 4年度 計画	令和 2年度 決算	令和 3年度 当初予算	令和 3年度 決算	令和 4年度 当初予算
1	三島市育英奨学金貸付事業	奨学金の貸付人数	人		62	57	51	0	26,460	22,936	22,716
	全体事業概要										
	経済的理由により修学に困難がある生徒又は学生に対し、学資の貸与を行うことにより、社会に有為な人材の育成に資するとともに、教育の機会均等に寄与することを目的とする。										
					令和 5年度の優先度						
					<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D			
	令和 3年度 の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし		今後の制度の継続性を考慮し、新規貸与者については予算の範囲内で募集定員の上限を設け、選考委員会を設置した。応募者が上限以内であったが選考委員会にて審査基準に基づき選考を行い、申請者全員の承認となった。新規・継続者合わせて57人に適切に貸与を行った。また、滞納者には毎月の督促を実施し、返済を促すことにより、返済につながった方もいる。							
事業区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託 <input type="checkbox"/> その他			今後の方向性 (改善措置等)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 今後も制度の継続性を図るため、返還金の歳入額の範囲で貸与が行えるよう、適正な審査のもと選考を行っていく。また、滞納者には引き続き毎月の督促を実施し、連帯保証人も含め個別に連絡をしていく。						
計画対象	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画査定対象 <input type="checkbox"/> 行政改革対象										

No.	事務事業名	活動指標名	単位	活動内容				コスト（事業費：千円）			
				令和 2年度 実績	令和 3年度 計画	令和 3年度 実績	令和 4年度 計画	令和 2年度 決算	令和 3年度 当初予算	令和 3年度 決算	令和 4年度 当初予算
2	特別支援学級指導員配置事業	特別支援学級指導員の配置人数	人		16	16	17	0	38,173	37,929	40,864
	全体事業概要										
	特別支援学級における児童生徒の指導に支障のないよう、特別支援学級設置校の6校に支援員を配置し、一人一人に目の行き届いたきめ細かい教育を実現する中で、特別支援教育の充実を図る。										
					令和 5年度の優先度						
					<input type="checkbox"/> A	<input type="checkbox"/> B	<input type="checkbox"/> C	<input type="checkbox"/> D			
	令和 3年度 の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし		令和3年度は北上小に特別支援学級を開設したため、特別支援学級指導員を1名増員した、特別支援教育の充実を図った。							
事業区分	<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託 <input type="checkbox"/> その他			今後の方向性 (改善措置等)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 令和4年度は北上中学校に特別支援学級を開設し、特別支援学級指導員を1名増員する。今後も、児童生徒一人一人に目の行き届いたきめ細かい教育を目指し、特別支援教育の充実を図る。						
計画対象	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画査定対象 <input type="checkbox"/> 行政改革対象										

※決算額については、端数処理により、他資料の決算額と差異が生じている場合もあります。

令和 3年度 事務事業評価表（個票）

課名 教育推進部学校教育課

作成日 令和 4年 8月 5日

概要	施策名	幼児教育・小中学校教育	基本目標	未来につながる人材を育むまち
	施策の目的	豊かな感性と確かな学力をもつ、心身ともに健康な子どもを育成すること。		
施策の方向		小中学校における教育力の向上		
令和 3年度 の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし	小中学校における教育力を向上するために、新型コロナウイルス感染症対策を行い、方法を工夫しながら事業を実施した。学力向上研修会では、主体的・対話的で深い学びの実現のために方策を探るとともに、GIGAスクール推進に係るタブレットの効果的な活用方法を検討した。また、不登校児童生徒問題を喫緊の課題ととらえ、ケース会議を実施し、支援の手立てを指導した。さらに教職員の育成事業として、若手教員の教育力向上を目指し、ニーズに応じた研修会の企画、運営をおこなった。		
今後の方向性 (改善措置等)	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 改善	これまでどおり、心の教育を柱として推進するとともに、確かな学力の育成、生徒指導・特別支援教育の充実、安全教育に焦点を当てた「命の教育」の推進を図っていく。また、三島市学校教育振興基本計画の後期5ヵ年行動計画をもとに、事業を実施することを通して、小中学校の教育力の向上を図る。さらに、「令和の日本型学校教育」の姿である「全ての子供たちの可能性を引き出す「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現」に向け、GIGAスクール構想を推進し、教員のICT活用指導力の向上を図る。		

No.	事務事業名	活動指標名	単位	活動内容				コスト（事業費：千円）			
				令和 2年度 実績	令和 3年度 計画	令和 3年度 実績	令和 4年度 計画	令和 2年度 決算	令和 3年度 当初予算	令和 3年度 決算	令和 4年度 当初予算
3	小学校英語活動推進事業	授業力向上のための学級訪問をした学級数	学級		85	73	85	0	14,109	13,976	14,111
	全体事業概要										
	令和2年度全面実施の学習指導要領に位置付けられた小学校外国語科（5,6年：年間70時間）外国語活動（3,4年：年間35時間）のためALTを配置する。ネイティブな発音、異文化に生で触れることは小学校外国語活動において大変効果的である。										
	令和 3年度 の評価		<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし		令和2年度から小学校外国語科・外国語活動が全面実施となり、令和3年度も外国語指導助手（ALT）を3人雇用し、外国語及び外国語活動の充実を図った。なお、活動指標における学級訪問をした学級数は、外国語科・外国語活動を担当している教員を対象に実施しているため、英語専科教員の配置等により減少している。						
	事業区分		<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託 <input type="checkbox"/> その他		引き続き、外国語指導助手（ALT）を活用し、外国語及び外国語活動及び国際理解教育の充実を図っていく。						
計画対象		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画査定対象 <input type="checkbox"/> 行政改革対象	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 終了				令和 5年度の優先度		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	

No.	事務事業名	活動指標名	単位	活動内容				コスト（事業費：千円）			
				令和 2年度 実績	令和 3年度 計画	令和 3年度 実績	令和 4年度 計画	令和 2年度 決算	令和 3年度 当初予算	令和 3年度 決算	令和 4年度 当初予算
4	学校支援員配置事業	学校支援員への研修	回		3	1	3	0	75,438	72,623	84,235
	全体事業概要										
	義務教育の初年度である小学校1年生や低学年における円滑な集団生活への適応を支援するため、また多人数の学級や普通学級に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒を援助するため各小中学校に学校支援員を配置する。										
	令和 3年度 の評価		<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり <input type="checkbox"/> 遅延 <input type="checkbox"/> 進展なし		普通学級に在籍する医療的ケアや特別な支援を必要とする児童を支援するため、看護師2名、介助員1名を配置した。合わせて57人の学校支援員を任用し、小学校1年生や低学年における円滑な集団生活への適応支援や多人数の学級や普通学級に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒を援助を行った。研修については、新型コロナウイルス感染症対策のため、令和3年度は回数が減ったが個別面談等によりフォローを行った。						
	事業区分		<input type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託 <input type="checkbox"/> その他		看護師の配置については、医療的ケア児及びその家族に対する支援に関する法律により定められた。令和4年度は支援が必要な児童が入学するため看護師1名増員し、合わせて58名の支援員を雇用する。小中学校の通常学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒は、年々増加傾向にあり、学校支援員の増員が必要となっているので今後も支援員の確保と質の向上に努めていく。						
計画対象		<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画査定対象 <input type="checkbox"/> 行政改革対象	<input checked="" type="checkbox"/> 維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 終了				令和 5年度の優先度		<input type="checkbox"/> A <input type="checkbox"/> B <input type="checkbox"/> C <input type="checkbox"/> D	

※決算額については、端数処理により、他資料の決算額と差異が生じている場合もあります。